

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	宮城県	地区名	大崎西部 3 期
-----	--------------	-------	-----	-----	----------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	20,665,699 千円	
当該事業による費用	②	1,386,734 千円	
その他費用	③	19,278,965 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	47 年	当該事業の工事期間＋40 年
総便益額（現在価値化）	⑤	26,320,490 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.27	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	455,021 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稲、大豆等
営農経費節減効果	846,546 千円	用水施設の整備及び関連事業のほ場整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稲、大豆等
維持管理費節減効果	△ 22,163 千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用用水路、頭首工
耕作放棄防止効果	5 千円	関連事業のほ場整備の実施により耕作放棄の発生が抑制されることで作物生産が維持される効果
計	1,279,409 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（一般）	都道府県名	新潟県	地区名	柏崎2期
-----	--------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	70,101,050 千円	
年 効 用	②	3,722,494 千円	
廃 用 損 失 額	③	788,564 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	47 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0.0506	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	72,778,511 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	668,245 千円	用水確保と水管理合理化による農作物の生産量増加 対象作物：水稲、大豆、大麦 他
営農経費の節減	営農経費節減効果	1,814,099 千円	水管理合理化による労働時間の短縮 対象作物：水稲、大豆、大麦 他
	維持管理費節減効果	△5,474 千円	用水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	804,283 千円	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水施設
地域の生活環境の保全向上	地籍確定効果	12,360 千円	圃場整備等の実施により、区画が整形化され、地籍が明確になる効果
	安全性向上効果	12,535 千円	安全施設の設置により、事故等の減少を図り、地域の安全性の向上を図る効果 対象施設：用水路

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
地域の生活環境 の保全向上	公共施設保全効果	3,003 千円	事業の実施により付随的に便益が向上する効果 対象施設：一般道、林道
	河川流況安定効果	389,842 千円	用水施設整備により河川の流況を安定させる効果
	保健休養効果	23,601 千円	ダム等農業用排水施設整備の実施により河川の流況が安定する効果 対象施設：ダム、用水施設
計		3,722,494 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	水利区域内農地集積促進整備事業	都道府県名	福井県	地区名	東江
-----	-----------------	-------	-----	-----	----

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	4,926,726千円	
当該事業による費用	②	2,543,274千円	
その他費用	③	2,383,452千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	5,725,317千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.16	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	159,293千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稻、大麦、大豆、そば 他
営農経費節減効果	20,949千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稻、大麦、大豆、とまと 他
維持管理費節減効果	2,733千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：用水路、揚水機場
非農用地等創設効果	2,224千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での用地調達費が増減する効果
安全性向上効果	5,950千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での転落・水難事故が防止される効果 対象施設：用水路
文化財発見効果	298千円	関連事業により文化財が明確になり、土地改良事業で保護され逸失が回避される効果
地域用水効果	306千円	関連事業の実施に伴い、防火用水としての機能が発揮される効果
地籍確定効果	89千円	県営圃場整備事業により地籍が明確になるための効果

効果項目	年効果額	効果の要因
景観環境保全効果	5,026千円	関連事業によりせせらぎ水路を整備することにより、水辺環境が創設される効果
計	196,868千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	水利区域内農地集積促進整備	都道府県名	福井県	地区名	河合春近用水東
-----	---------------	-------	-----	-----	---------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	3,517,049千円	
当該事業による費用	②	2,302,574千円	
その他費用	③	1,214,475千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	47 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	4,084,391千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.16	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	113,046千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：水稻、大麦、大豆、そば 他
営農経費節減効果	14,867千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：水稻、大麦、大豆、とまと 他
維持管理費節減効果	1,940千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：用水路、揚水機場
非農用地等創設効果	1,578千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での用地調達費が増減する効果
安全性向上効果	4,223千円	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での転落・水難事故が防止される効果 対象施設：用水路
文化財発見効果	211千円	関連事業により文化財が明確になり、土地改良事業で保護され逸失が回避される効果
地域用水効果	217千円	関連事業の実施に伴い、防火用水としての機能が発揮される効果

効果項目	年効果額	効果の要因
地籍確定効果	63千円	県営ほ場整備事業により地籍が明確になるための効果
景観環境保全効果	3,567千円	関連事業によりせせらぎ水路を整備することにより、水辺環境が創設される効果
計	139,712千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	水利区域内農地集積促進整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	西西 1 期
-----	-----------------	-------	-----	-----	--------

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,567,507 千円	
当該事業による費用	②	1,863,500 千円	
その他費用	③	704,007 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	47 年	当該事業の工事期間＋40 年
総便益額（現在価値化）	⑤	5,629,071 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.19	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	48,334 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、かぼちゃ、にがうり、マンゴー等
営農経費節減効果	40,547 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、たばこ、牧草、かぼちゃ、かんしょ
維持管理費節減効果	△3,227 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池等
その他効果	240,164 千円	区画整理の実施によりほ場の勾配抑制や浸透池等が整備され赤土等の流出量が増減する効果
計	325,818 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	水利区域内農地集積促進整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	松原南
-----	-----------------	-------	-----	-----	-----

1. 総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,007,800 千円	
当該事業による費用	②	1,411,346 千円	
その他費用	③	596,454 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	46 年	当該事業の工事期間＋40年
総便益額（現在価値化）	⑤	4,179,998 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	2.08	

2. 年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	39,035 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、かぼちゃ、にがうり、マンゴー等
営農経費節減効果	34,185 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、たばこ、牧草、かぼちゃ、かんしょ
維持管理費節減効果	△4,270 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池、防風林等
その他効果	158,026 千円	区画整理の実施によりほ場の勾配抑制や浸透池等が整備され赤土等の流出量が増減する効果
計	226,976 千円	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	水利区域内農地集積促進整備事業	都道府県名	沖縄県	地区名	村越 1 期
-----	-----------------	-------	-----	-----	--------

1．総費用総便益比の算定

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	2,852,650 千円	
当該事業による費用	②	2,023,086 千円	
その他費用	③	829,564 千円	関連事業費＋資産価額＋再整備費
評価期間	④	47 年	当該事業の工事期間＋40 年
総便益額（現在価値化）	⑤	5,226,185 千円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.83	

2．年効果額の総括

効果項目	年効果額	効果の要因
作物生産効果	69,651 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での農作物生産量が増減する効果 対象作物：さとうきび、かぼちゃ、にがうり、マンゴー等
営農経費節減効果	46,398 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での営農経費が増減する効果 対象作物：さとうきび、たばこ、牧草、かぼちゃ、かんしょ
維持管理費節減効果	△5,654 千円	畑地かんがい施設の整備及び区画整理を実施した場合としなかった場合での維持管理費が増減する効果 対象施設：農業用排水路、農道、浸透池、防風林等
その他効果	191,060 千円	区画整理の実施によりほ場の勾配抑制や浸透池等が整備され赤土等の流出量が増減する効果
計	301,455 千円	